

本宮もとみや駅まで約三十五キロの山道を歩かねばなりません。

「清作、がんばるんだぞ。医者になるという目的を立てた以上、最後までしっかりやるんだよ。」

小林先生のはげましの言葉、

「清作や、むりなことはするなよ。からだをこわさないようにしてくれ。

いつも観音かんのんさま様をおがんでいるよ。」

母シカのやさしい言葉に送られ、わらじのひもをしめなおすと、力強く東京へ向って歩き出しました。

東京に着いた清作は、十月にはいじちゅうかいぎょう医療開業の前期試験を受け、合格しました。

けれども、困ったことに持っていたお金がもうなくなっていたのです。この広い東京で、清作の「お金」と「勉強」の苦勞が始まりました。

「そうだ。あの若松でお会いしたちわきもり血脇守之助のすけ先生のところへ行こう。」